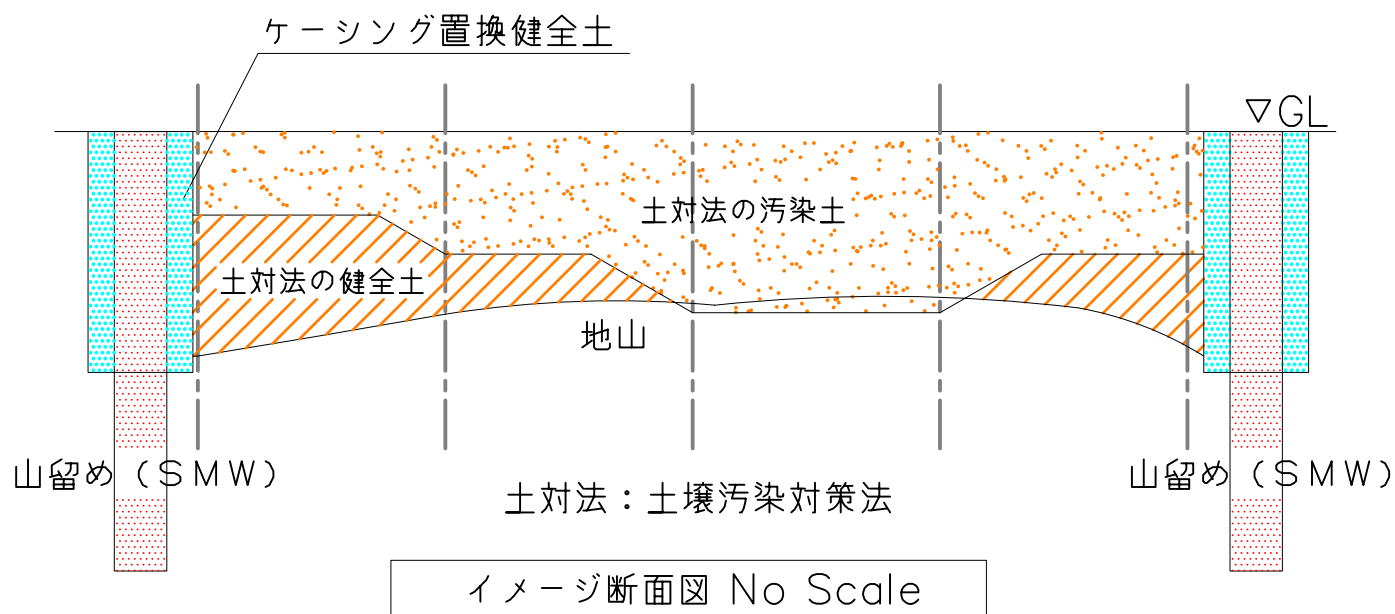
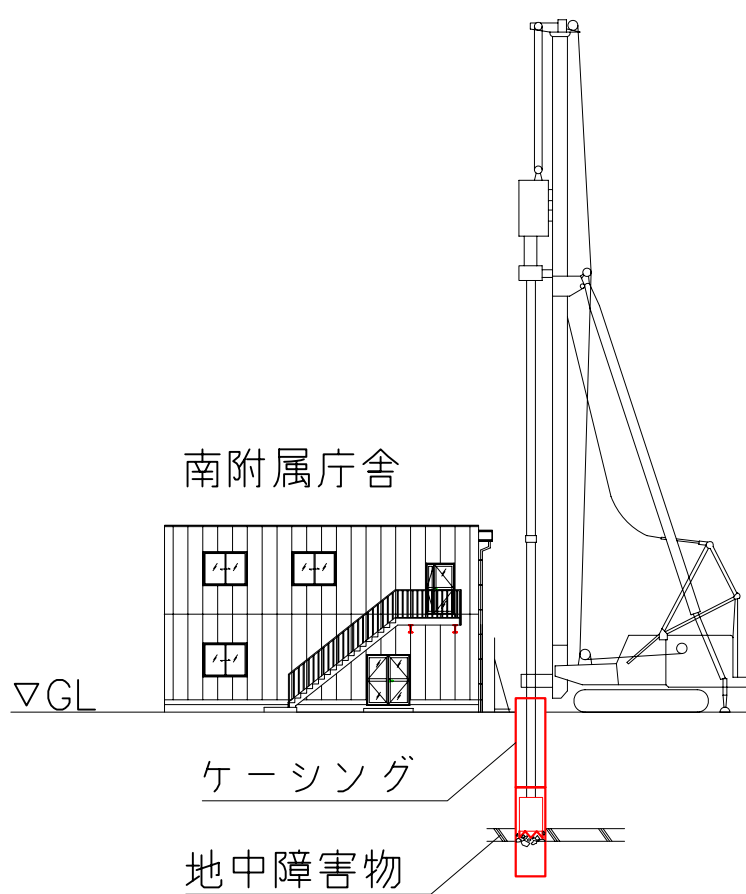


## 土壌汚染処理及び地中障害物除去の手順について

- 1 土壌汚染処理に必要なシートパイル山留めと建築基礎工事に必要なSMW山留めをSMW山留めで兼ねることで効率性を高めます。深さ方向には、砂の地山が出るまで汚染土処理することで工事再開後の安全性を確保します。
- 2 STEP1ではSMWとシートパイルの打設範囲を示しています。SMW打設範囲はCD機・BG機による作業が含まれます。また、この山留めの内側については、土壌汚染処理、地中障害物除去及び議事堂基礎解体を一緒に行います。
- 3 STEP2ではスロープ2箇所を設置しながら、露天掘り（オープンカット）の形で汚染土と地中障害物等を搬出します。合わせて、汚染土壌区域の解除の手続きを進めます。
- 4 STEP3ではSTEP1で打設できなかった中央の地下2階部分などのSMW山留めなどが打設できるよう原設計のGL-1.8mの深さまで、健全土で埋め戻します。
- 5 STEP4からは原設計どおりになります。



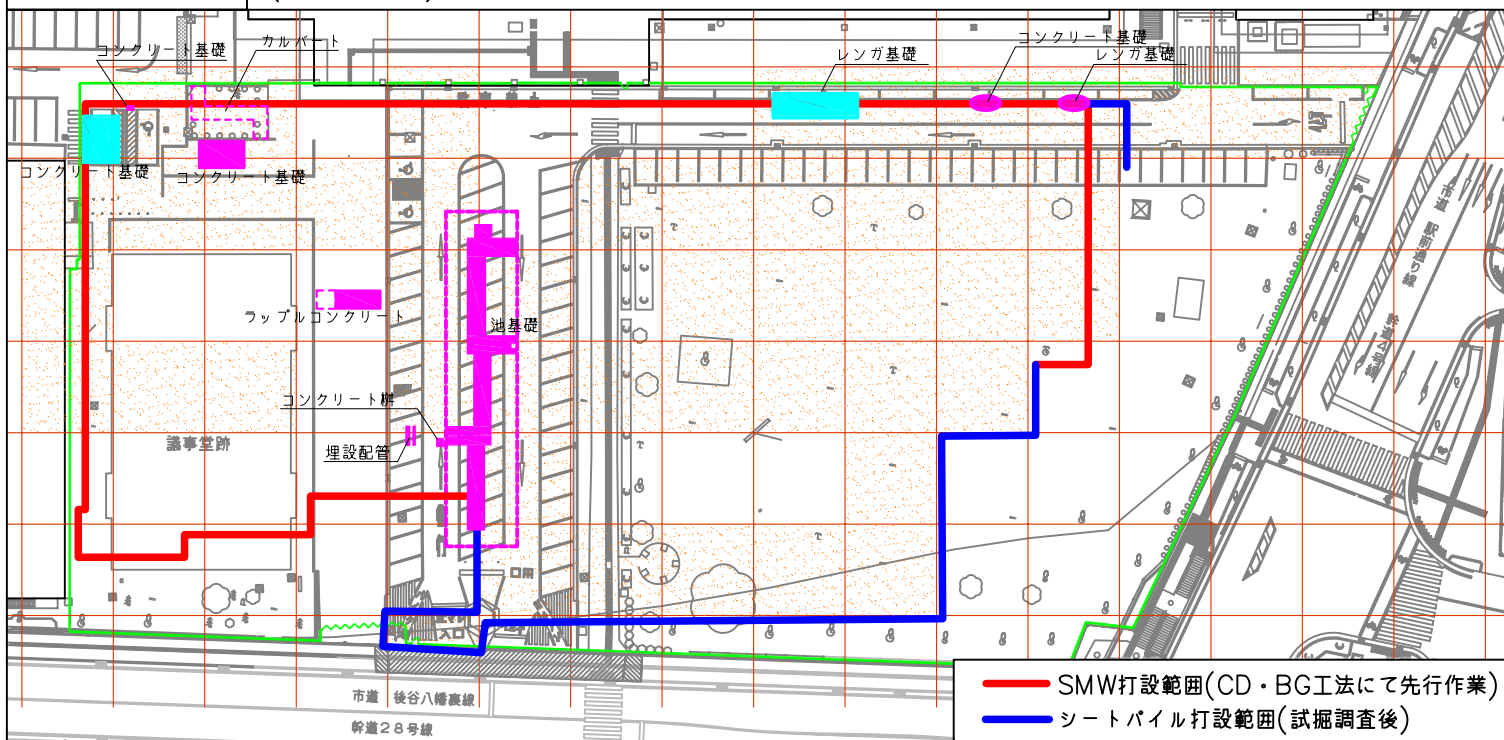
## CD・BG工法による先行作業(地中障害物撤去)イメージ



ケーシングにて掘削後、ケーシング内部の障害物の破砕・引き上げを行う。

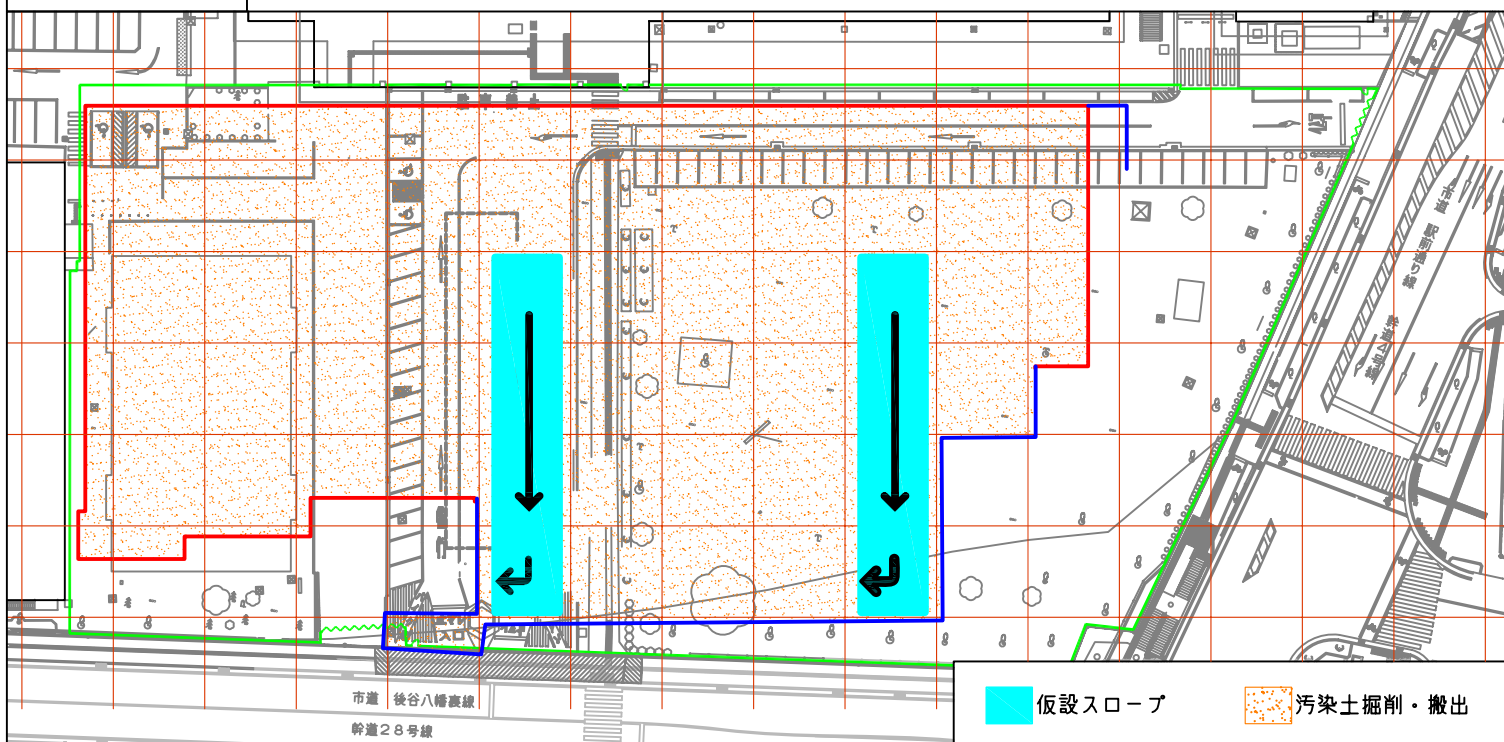
# STEP 1

## 山留壁打設(SMW・シートパイル) (GLからの作業)

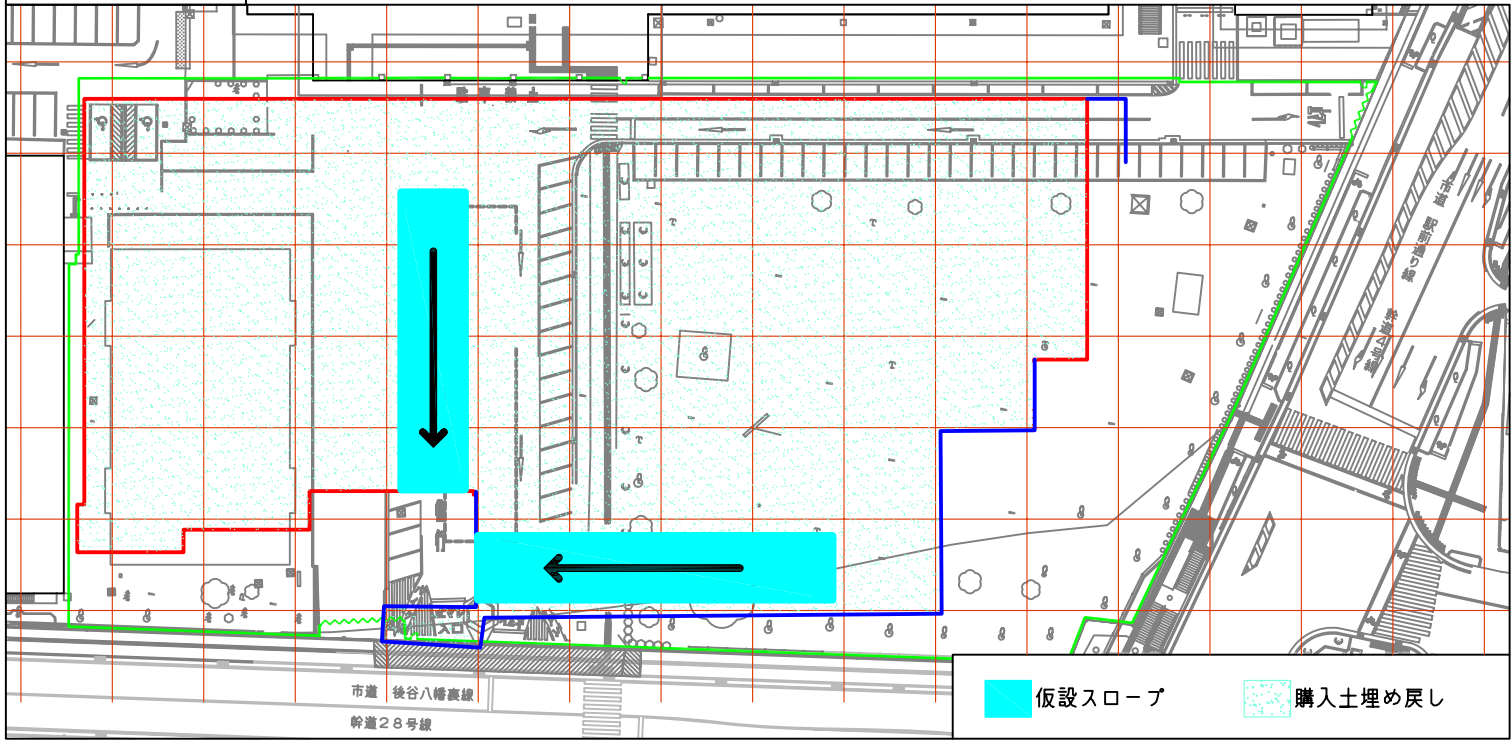


# STEP 2

## 汚染土の掘削・搬出



### STEP 3 購入土による埋め戻し(GL-1.8mまで)



### STEP 4 山留壁打設(SMW) (GL-1.8mからの作業)

